## 職員の倫理要綱について

尾方 洋直 議員

**尾方** 県各市町村で横領、不正経理処理が頻発しているが本市は職員に対して法令の遵守、又法規の保持の徹底に努められているか。不祥事に対する罰則規定等について伺う。

**市長** 常々職員に公正、公平、誠実に能率的な職務遂行に努めるよう指示命令を行い市民の信託に応えるべき最善の努力を要求しています。

**総務企画部長** 具体的には公金の管理に必要な調査及び審議を行う「合志市公金管理委員会」を設け、20年度から「合志市職員人材育成基本方針」を作成中で本年度には確立いたします。罰則については地方公務員法第29条に基づき懲戒手続き及び効果に関する条例を定めています。

### 太陽光発電システムについて

**尾方** 温室効果ガス削減が京都議定書で国の削減目標値が定められ、市では学校施設に設置予定ですが、他の公共施設及び個人住宅用の助成を行う等今後の計画について伺う。

**教育部長** 21年度では文科省のスクール・ニューディール構想が補助率が良く、市内全10学校に設置を予定し県に意思表示を行っています。

**市長** 本市においては設置目標3％をクリアし、また環境問題には住民の理解も高く公共施設、住宅用についても検討していきます。

### 市民まつりについて

**尾方** 18年度合併記念祭が開催されその後も市民まつりとして続いています。住民の意見は様々だと思います。市民が望む祭りを定着されるよう望みます。

**市長** 各種実行委員会で論議をし、試行錯誤しながらも市民にあった祭りの定着を願い検討してまいります。

市民まつりの様子

## スクール・ニューディール構想の推進について

松井美津子 議員

**松井** イメージハンプが設置されていますが、線が消えて立体的に見えないので対策を！

**都市建設部長** 現地等も見ているので早く補修をやっていきたい。

**松井** 生活保護開始までのつなぎなどの緊急支援について伺う。

**健康福祉部長** 県の生活福祉基金の見直しと公的給付金による支援を受けるまでのつなぎの支援策の検討が決定すれば相談、啓発を行う。

**松井** 市民は、税金の無駄使いは絶対に許さない。行政の無駄ゼロに向けての決意を伺う。

**市長** 今までの惰性的な行政運営を払拭し、効率・効果的な行政運営をやる。そして、職員が工夫しながら業務をしなければならない。

**松井** スクール・ニューディール構想について伺う。2009年度補正予算の中に、学校施設への太陽光発電パネルの設置を目指す予算が入っているが、本市の取り組みについて。

**教育部長** 経済危機対策の重要施策に位置づけられている。小中学校10校に設置を県に要望している。

**松井** ICT環境の推進として、学校や公共施設への地デジ対応テレビへの整備の取り組みは。

**教育部長** ICT整備事業についてデジタルTVの導入を考えている。

**松井** パソコンと接続できるボード、電子黒板の設置について伺う。

**教育部長** 今回の事業で各校に1台ずつ電子黒板の導入を考えている。

**松井** ICT環境の整備についてどこの自治体よりも充実を望むか。

**市長** ICTの活用は欠かせない。現場の要望に応えて十分考えたい。

**松井** 消費者生活相談窓口の設置と、安心して相談できるようネーミングを考えてはいかがでしょうか。

**総務企画部長** 月、水、金の3日の相談にあたりネーミングも考えたい。

## 菊池恵楓園の将来構想について

今村 直登 議員

**今村** 市長は常々恵楓園の将来構想は合志市のまちづくりの基本、重要課題と言っているが。

**市長** 私は園の将来構想はまちづくりの重要課題と再三話している。市の総合計画の中でも、メディカルステーションゾーンと位置づけている。何よりも第一は「らい予防法」をつくり隔離政策の中で、言われなき差別をされてきたので、地方自治体がその責任を果たすこと。第二は今度の法律の制定にある、社会との共生を十分考えなければならないことから、重要課題と言っている。

**今村** ハンセン病問題を市民に理解してもらうには、職員、議員がしっかり勉強する必要があると思うが。

**市長** 全く同意見である

**今村** 約百年に及ぶハンセン病政策の特徴は何と思うか。

**市長** らい予防法を温存し、隔離の政策を行ったことと、我々地方公共団体が無らい県運動などで、隔離政策に加担したことだ。

### 福祉給付金制度創設について

**今村** 生活保護世帯の母子加算が廃止されて泣いている人たちがいる。北海道東川町では月8,000円の独自の補助を行っている。本市でもそのようなことができないか。

**健康福祉部長** 母子加算に代わる補助制度があるので、今は考えていない。

**今村** 検討も出来ないのか。

**健康福祉部長** 市長と相談します。

### 南部に子どもが自由に遊べるグラウンドの設置を

**今村** 南部団地には、子どもたちが自由にボールを蹴ったり、ソフトボールをしたりする場所がない。旧西合志の図書館裏の広場みたいなものをつくる気はないか。

**教育部長** 土地確保、財政の面など難しい問題があり、グラウンドをつくる構想は現在はない。

「隔離政策の象徴」といわれる
菊池恵楓園のコンクリート塀

## 合併を検証する

丸内三千代 議員

**丸内** 合志市になり3年、市長は合併について「ある程度評価している」としているが何点をつけるか。

**市長** 70点はとれると、そんな思いだ。根拠として、財政力が増しており、合志市は約5割の自主財源率を保ち、企業誘致についても2社進出7社増築等の結果も出ている。

**丸内** 合併効果の市民公表は。

**総務企画部長** 合併後の「合志の姿」を作成している。まとまり次第市民へ公表していく。

**丸内** 合併をしても顔の見える市役所であってほしいと思うが。

**総務企画部長** 重要な事は市民の要望に応えていくということである。

**丸内** 子育て支援日本一のまちづくりを掲げているが、効果はどうか。

**総務企画部長** 出生率が17年度を100として21年度は112.6％の67人増

**丸内** 庁舎問題については、市民が営々として育った地域への思い入れや伝統文化、若い人たちの夢、期待等あらゆる面から意見を聞いてほしい。

**総務企画部長** アンケート調査やパブリックコメント、市民座談会を開いて市民の声を十分把握していく。

**丸内** 人と自然を大切にした協働によるまちづくりの中、開発と自然を守るという表裏の政策において、市民が安心して暮らせる合志市の将来人口をどうとらえているのか。

**市長** 市民の状況が目で見えて、市民の声が耳で聞こえる、そんな範囲が適当と考えると5万5千人位がより住みやすいと思う。

**丸内** 市民の一体感へのまちづくりについて、地域を知ることから図られると思うので「合志市ウオッチング」等提案するが。

**市長** お互いを知ることを理解するうえで大事なことです。検討したい。

合志の姿